

# 令和7年度の予算編成方針

## 職員の皆さんへ

摂津市長 嶋野 浩一朗

本市は、未来へのまちづくりの投資として、現在 JR 千里丘駅西地区の再開発事業及び阪急京都線連続立体交差事業をはじめとする大型事業を進めており、令和7年度以降は給食センター建設等の更なる大型事業の着手も予定しているところです。

しかしながら、令和5年度末の主要基金残高は約125億円と、ピーク時の平成27年度の約146億円から約21億円も減少しております。また、今後は大型事業の取組の影響による市債発行増加に伴う公債費の増大に加えて、人件費や扶助費といった経常的な経費も増加していく見込みであり、更なる基金の減少が懸念されるところです。

このように、今後本市の財政状況は大変厳しいものとなり、市政運営において、多くの難題に直面することが想定されますが、職員の皆様の英知を結集し、果敢に難題に挑んでいくことで、必ずや道は開けるものと確信しております。

職員の皆様には、本市を取り巻く状況をしっかり踏まえながら、まちづくりについて主体的に考え、行動していただくことを期待しております。

令和7年度予算編成は、私の市長就任後、初めての本格予算であります。これまで本市が継続して取り組んできた「こども」「健康」「安全・安心」の3つの重点テーマの成果を活かしながら、私が市長選挙で公約に掲げました「高齢者にやさしい環境づくり」「こどもを産み育てる喜びを実感できる環境づくり」「こどもが持つ可能性を伸ばす学びの環境づくり」「産業振興や地域活性化を通じた誰もが活躍できる環境づくり」の取組などを推し進め、「市民が幸福を実感できるまち」の実現に向け、確かな一歩となる予算にしていきたいと思います。